

2022年 図書館だより 10月



〒855-0036 島原市城内一丁目1202

島原図書館 0957-64-4115



10/27~11/9 は読書週間です

秋といえば・・・皆さんは何を思い浮かべますか？
スポーツの秋、食欲の秋、そして「読書の秋！」
気になる一冊を探しに、ぜひ図書館へお越しください。

10月の行事予定

※令和4年9月23日現在の行事予定です。

日	月	火	水	木	金	土
						1 おはなしのじかん 11:00
2	3 休館	4	5	6	7	8 おはなしのじかん 11:00
9	10 休館	11	12	13 子どもの本を 読む会 13:30	14	15 おはなしのじかん 11:00 文連読書会 13:30
16	17 休館	18	19	20 句楽会 13:00	21	22 おはなしひろば 11:00 郷土史を学ぼう会 (森岳公民館大ホール) 14:00
23	24 休館	25	26	27 おはなしのじかん 0・1・2 11:00	28 さくら読書会 10:00	29 おはなしのじかん 11:00
30 子どもクラフト 教室 10:30 (申込制)	31 資料整理日 (休館)					

令和4年度 郷土史を学ぼう会
日時 10月22日(土) 午後2時
場所 森岳公民館大ホール
内容 誰がために鐘は鳴る
島原藩日記を読もう
生駒 輝彦 先生
松尾 卓次 先生



この1冊に、ありがとう

～あなたの「出会えてよかった」本を教えてください～

読書週間のイベントとして、思い出のある本、きっかけとなった本、開くと元気をもらえる本など、あなたにとっての特別な1冊を募集します。

〈募集期間〉10月8日(土)～11月6日(日)

〈対象〉幼児～一般

〈応募方法〉応募用紙に必要事項を記入し、島原図書館カウンターに置いている応募箱

第26回島原図書館読書感想画展

市内各小学校の児童作品201点を展示しています。
開館中、自由に観覧いただけますので、ぜひご来館ください。

展示期間：10月1日(土)～10月30日(日)

場 所：島原図書館 図書館内

ご不用の本はありませんか？

ブックリサイクル

11月19日(土)・20日(日)に「ブックリサイクル」を開催します。ご自宅に眠っている不用な本を持ってきていただき、欲しい方に自由に持ち帰っていただきます。
読まなくなった本や雑誌がありましたら、島原図書館へお持ちください。

《持ち込み受付期間》10月4日(火)～11月18日(金)

※受付期間以外の本の持ち込みはできませんのでご注意ください

新刊案内

●レジデンス 小野寺 史宜／KADOKAWA

ひたたくりをやめられない中学生・望。自転車泥棒に暴行を働く弓矢。交通事故に遭い就職できなくなった根岸。古びたマンションで本心を偽りながら生きる住人たちの憎悪と渴望が交錯し…。『野性時代』掲載を改題、改稿。

●浅草ルンタッタ 劇団ひとり／幻冬舎

行き場をなくした女たちが集う浅草の置屋の前に、赤ん坊が捨てられていた。お雪と名付けられた赤ん坊は、明治から大正へ、浅草の賑わいとともに成長した。楽しみは芝居小屋に通うこと。圧倒的祝祭に満ちた物語。

●裂けた明日 佐々木 譲／新潮社

内戦下の日本。追われる母娘に出会った元公務員の信也は、2人を安全圏まで送り届けようと決断。役所勤めの経験を生かし、意外なルートで軍事境界線を突破し…。『Foresight』連載を単行本化。

●嘘つきジェンガ 辻村 深月／文藝春秋

見栄、不安…。ほんの出来心から積み上げてしまった嘘。一線を越えたら、もう戻れない。騙す側、騙される側、それぞれの心理を巧みに描く小説集。『オール讀物』掲載を単行本化。

●レッドクローバー まさき としか／幻冬舎

東京のバーベキュー場で起こったヒ素による大量殺傷事件。記者の勝木は、12年前の灰戸町一家殺害事件の、ただ一人の生存者、赤井三葉を思い出す。あの日薄汚れたゴミ屋敷で一体何があったのか。そして少女は今。

●素晴らしき国 小路 幸也／角川春樹事務所

豊臣秀吉に仕えた武将の家系に遺されていた一枚の絵。そこに描かれている肖像画とうり二つの女性が、この絵を描いたのは後世に明智光秀と呼ばれた人物だと語り始め…。『ランティエ』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

●越境刑事 中山 七里／PHP 研究所

“県警のアマゾネス”高頭冴子は、留学生の不審な失踪が相次いでいるという噂を耳にする。数日後、新疆ウイグル自治区出身の留学生の死体が発見された。冴子は中国公安部が絡んでいることを掴むが…。『文蔵』連載を加筆修正。

●新！店長がバカすぎて

早見 和真／角川春樹事務所

山本猛元店長が、3年ぶりに吉祥寺本店に店長として復帰した。張り切る店長だが、相変わらず、人を苛立たせる天才だ。しかし京子は、心の中で「お帰りなさい」とつぶやき…。『ランティエ』連載を加筆し書籍化。

●都会を出て田舎で0円生活はじめました

田村余一・田村ゆに／サンクチュアリ出版

家はぜんぶタダでもらった廃材を使ってセルフビルド、電気・水道・ガスは契約せず、ソーラーパネルや湧き水を使い、廃材を燃やす。家庭菜園で野菜や果物を栽培し…。お金に頼らない田舎暮らしのリアルを伝える。

●神崎メゾット 神崎 恵／講談社

「そのひとだけの“歪さ”は美しい」「センスは人からもらう」…。現代女性のロールモデル、美容家の神崎恵が、これからの時間をより満たすため、そして自分らしく生きるために心がけていることや工夫していることを語る。

ホームページからも本の検索が出来ます。お知らせ等も記載しておりますのでぜひ、ご活用ください。

島原図書館・有明図書館のHPアドレス <https://www.shimabara-city-libraries.jp/>

図書館東側駐車場 10台（うち、軽自動車3台）、西側に身障者専用駐車場1台、新生病院横駐車場 21台が利用できます。
土日祝日のみ、島原振興局駐車場も利用できます。ぜひご活用ください。